東京学芸大学・障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究

成人期知的障害者のライフステージ別の支援ニーズに応じた学習プログラムの開発・提供

成人期知的障害者のライフステージ別の支援ニーズに関する調査研究

1．目的

生涯学習における学習プログラムの提供に向けて、社会福祉法人を対象に成人期知的障害者のライフステージ別の支援ニーズを明らかにすることを目的とする。

2．方法

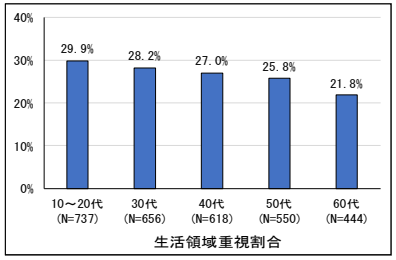
（1）調査対象：全国の就労継続支援B型事業所

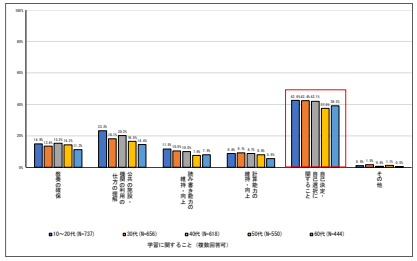
（2）調査項目：菅野(2012)の生涯発達支援・地域生活支援の４領域を参考にし、ライフステージ別に個別支援計画の目標(支援課題)を問うた。

（3）調査方法：郵送による調査用紙の送付した(回収率21.9%)。

（4）分析：各ライフステージにおいて支援課題に該当する領域の有無及び該当すると回答した領域の下位項目の割合を算出した。

3．結果（生活、学習領域）





生活領域、学習領域の自己決定に関する支援ニーズはどのライフステージでも共通して高い割合

成人期知的障害者の自己決定に関わる学習支援プログラムの開発・提供

成人期知的障害者の生涯学習支援の取り組み＝オープンカレッジ東京

考える“わざ”を学ぶ
→自己決定に関わる問題解決能力

【自己決定】選択肢（対象物）の特徴を基に、自分に合う選択肢を選択すること

対象物の特徴を整理する講座（問題解決能力形成講座）

サイエンスラボ（科学実験講座）

受講生が直接ICT機器を操作しながら実験の手続きを知り、観察した結果を映し出される画像と比較し、判断する過程を通して考える"わざ"を学ぶ講座

2018年度：ペットボトルとプラスチック

ディスカバーWorld（世界の地理講座）

国別のさまざまな食材を直接観察することによって、それぞれの食材を特徴づけていく学習。この過程を通して考える"わざ"を学ぶ地理講座

2018年度：世界のパン

○知的発達段階別（軽度・重度）の学習課題の設定
→多くの受講生が自ら課題を遂行することが可能に

○ICTの導入による“講座のパッケージ化の検証”
→支援者同士の講座展開の共通理解につながる

○知的障害者の主体的な学びの検証
→ヒントカードの導入による段階的支援を設定することで多くの知的障害者が自ら課題に取り組む

○講座共通教材の開発：マトリックス表・フローチャート

自分に合う選択肢を選択する講座(選択講座)

住まいを選択するわざ（住居選択講座）

自己選択・自己決定へとつなげることを目的としながら、その過程を通して考える"わざ"を学ぶ、生活・暮らし領域の講座

2018年度：住まいの選択に必要な観点の決定

○住まいの選択に必要な観点を決める
→科学実験講座、地理講座で培った問題解決能力を基に「部屋の広さ」「一緒に住む人」等の観点を自ら抽出
→これまでの共通教材を活用：マトリックス表・ヒントカード

マトリックス表

ヒントカード

障害特性に合わせた支援方法を用いることで
多くの知的障害者が自己決定に関わる学習に自ら取り組むことができる

開発した学習プログラム⇒日々の適切な自己決定につながる